

平成25年度第2回公立大学法人秋田県立大学経営協議会
議事要旨

1 日時：平成25年10月16日（木）15：45～17：20

2 会場：ホテルメトロポリタン秋田 3階「こまち」

3 出席者

（委員）

石田委員、郷委員、佐々木委員、吉村委員、渡邊委員

小間理事長、野田副理事長、小林理事、小嶋理事、青木理事

（監事）

吉崎監事

（事務局）

長谷部次長、佐藤芳TL、角間崎TL、藤田TL心得、

佐藤（寧）TL、前田S、飯塚職員

4 議事

定款の定めにより理事長を議長として会議が開催された。

(1) 定款に基づき経営協議会の議を経る必要のある事項について

1) 平成24年度業務実績に係る評価結果

2) 平成24年度決算の利益処分の承認

3) 平成25年度予算の補正

4) 主な規程の制定・改正

5) 職員の採用状況

1)～5)について審議した。

ここまできを踏まえ、次のような意見・質疑があった。

○ 利益処分の承認について、県への返還額の内容に係る質疑があった。

○ 積立金について、金額の多寡、及び使途について質疑があった。

○ 来年度予算（運営費交付金、人件費）について、質疑・意見があった。

(2) 平成25年度第1回経営協議会（H25.6.25）以降の学内外情勢について

1) 教員（助教）の任期の見直し

2) 大学院博士前期・後期課程の選抜状況

3) 平成26年3月卒業予定者の就職内定状況

1)～3)について報告を受けた。

ここまでを踏まえ、次のような意見・質疑があった。

- 教員（助教）について、学内の割合、望ましい制度のあり方、教員のあるべき姿について、意見・質疑があった。
- 大学院への進学について、現状、雇用する企業の考え、地域・家庭の事情に係る意見・質疑があった。
- 就職者の就職先について、県内・県外の割合や実情に係る質疑があった。

5 意見交換

学長から、本学キャンパス間の交流について、現在の取組や考え方について説明があり、次のような意見が出された。

- 大学によっては、異なる学部を結びつけるような学部等を作って対応している事例がある。
- 地方大学では、複数の地域にまたがるキャンパスを持つ例が多い。教員の研究に融合分野があるのではないか。その研究を核とし、教員、学生へと広げられないか。
- 入学した1年時に、1年間でも半年間でも、秋田Cに学生を集めるような方法を取ってはどうか。
- 様々な問題はあるだろうが、全学生が入寮できるような学生寮を建設するべきではないか。

6 その他

今回の第3回経営協議会は、平成26年3月5日（水）14時から、ホテルメトロポリタンの同じ場所で開催する。

以 上